

本質的な問い わたしたちは、地域とどう関わることができるだろうか

単元名 子ども町並みガイドをしよう

児童生徒の実態
・これまでの学習により、郷土の文化や伝統についての理解は、ある程度深まってきた。
・情報を収集する経験をしていきたが、必要な情報を関連付けたり、それをグループで協力してまとめたりすることには課題がある。
・郷土の町並みや名所・旧跡などは、今まで生活の中でほとんど意識したことはない。



目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）
・自然・環境・伝統に関する学習過程において課題の解決に必要な知識・技能を身につけ、それらを守り受け継ぐ人々の努力や工夫に気付き、探究的な学習のよさを理解する。（知識・技能）
・情報を比較したり、関連付けたりしながら分析し、整理することができる。（思考力・判断力・表現力）
・他者とコミュニケーションをとりながら、協働して、課題を解決することができる。（協働的に関わる力）
・学んだ事を自分の生活や地域（音戸）のために生かすことができる。（地域の一員として関わる力）

単元を貫く問い わたしたちの「音戸」を守るために、自分たちは何ができるだろうか。
【探究課題 音戸の文化・歴史の中で残したいもの】

【第3次】（ 5 時間）
課題 新しい先生にガイドしよう。
音戸の良さを守るために、自分にできることを考えよう
個別の問い
・音戸のどこをどのようにガイドしようか。
・自分たちで考えた地域を守る活動から「一人一人が大切にすべきこと」とは何だろう。

新しい先生

（しかけ）
新しい先生に音戸をガイドしよう。

【第2次】（ 4 時間）
課題 音戸の旧跡や名所のガイドしたいものをもっとくわしく調べる。
人々の願いを知る。
個別の問い
・どこをガイドしようかな。
・引地、鰯浜に古い建物が残っているのは、なぜだろうか。

市民センターの方

ボランティアガイドさん

地域の方

（しかけ）
・ボランティアガイドさんにもっとくわしく聞いてみよう。
・ガイドさんにガイドの仕方のコツを教わろう。

【第1次】（ 6 時間）
課題 わたしたちのまち「音戸」は、どんな町？
個別の問い
・音戸の昔と今が変わったもの、変わらないものは何だろう。
・じまんできるものは何かな。

わがまちの歴史と伝説

ぶらぶらマップ

（しかけ）
音戸旧道ぶらぶらマップを見て、行ってみたいところをさがそう。

見直しポイント

探究的な学習の過程に沿った単元構成
①単元を通して、資質・能力を育成する「探究課題」等を設定しているか
・解決の道筋がすぐには明らかでない課題や、一つの正解が存在しない課題となっているか。
・児童生徒が日常生活や社会に目を向け、解決したいと思える課題となっているか。
②児童生徒の思考を想定し、効果的な過程になっているか
・活動をこなすだけになっていないか。
・児童生徒から問いを生み出すしかけがあるか。
・学習したことを表現する場を設定しているか。
③サイクルとサイクルのつながりがスムーズとなっているか
・第1次だけで構成していないか。
・第1次のまとめと第2次の課題設定がつながっているか。